

『地域研究のためのフィールド活用型現地語教育』

平成23年度派遣報告書

——ボツワナ・ボツワナ大学、ツワナ語、派遣期間(H23. 9. 1-H24. 1. 30)——

平成 23 年入学
大学院アジア・アフリカ地域研究研究科
博士課程一回生
シ ゲンギン

自身の研究テーマについて

元々ブッシュマンの子どもの調査をしようと思っていたが、ハボロネでたくさんのチャイナショップの存在に引かれて、研究テーマを変えた。

ボツワナ共和国では、20世紀90年代に入ってから都市の中心部から郊外までチャイナショップの経営が展開しつつある。チャイナショップの増加は現地地域にとっては雇用の増加や安価な日常商品の提供などのメリットがあり、その一方では、現地のマーケットを独占するという問題点もある。近年、チャイナショップの急増は国内産業の発展を妨げるものとして、ボツワナ政府は経営に対し規制を強める傾向がある。

中国人のアフリカ市場経済進出に関する先行研究では、国レベルの統計資料に基づいた分析が多く、経営者の立場をよく理解したうえで行った市場経済に関する考察は少ない。経営者はどのような経緯でアフリカに来たのか、どのようにチャイナショップを経営しているのかといった経営者個人に焦点をあてた調査・分析も希薄である。

本研究ではボツワナでチャイナショップを経営している中国人を研究対象として、中国人経営者とボツワナ人との関係、中国人経営者同士のネットワークや競争について調査し、ボツワナにおける中国人経営者の暮らしの実態と課題を明らかにしていく。こういった研究から、中国がアフリカ市場経済に与える影響に関する理解を深めることができると期待される。



1 チャイナショップの商品



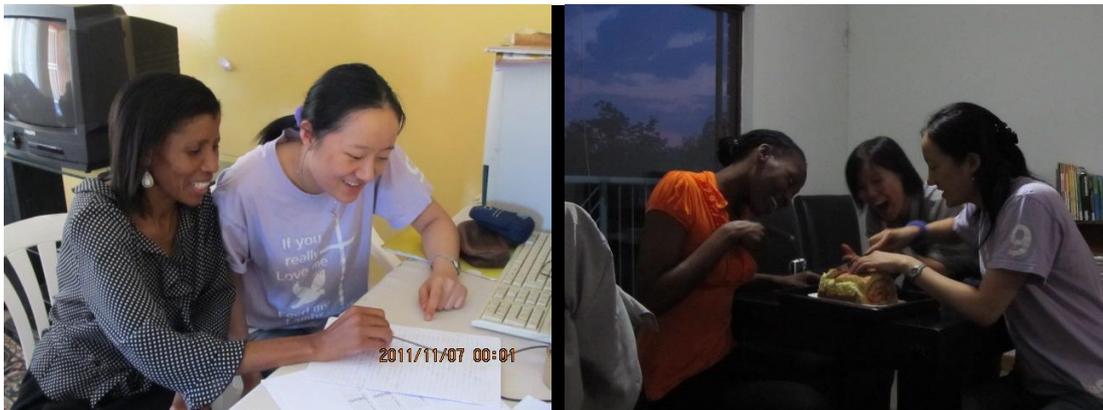
2 レジスターの風景

研修言語の概要

ツワナ語はニジェール・コンゴ語族に属し、もともと文字を持たず、現代において表記するときはラテン文字で書かれている。ツワナ語の話者の大半はボツワナ共和国に住んでいるが、南アフリカ共和国、ジンバブエ、ナミビアにも話者がいる。

語学研修の内容について

ボツワナ大学で9月の二週目から10週間に渡って、週5回、毎回1時間から1時間30分程度（合計65時間）の講義を受けていた。授業の時間帯は先生と私たちの都合を合わせて決めていた。講義は教師一人対学生二人で、英語で行った。それぞれツワナ語の基本的な発音、挨拶、文・単語の構成と、特別な場面での応用についてであった。講義の最終回に、10週間で習った内容に関する筆記テストを受けた。



1 ツワナ語の先生に教わっている風景

4 ツワナ人の友人と交流する風景

ボツワナの首都ハボロネでは英語がよく使われているので、私たちがツワナ語の授業を受けた後に練習する機会がなかなかなかった。10月からちょうど私たちと一緒にボツワナ大学の近くに下宿したいツワナ人の友人がいたので、日常会話を練習する機会がやっと与えられた。そのツワナ人の友人に単語集の単語を発音してもらいながら単語集の勉強をしていた。また、自力で作成したツワナ語の文章を友達に聞きながら直してもらおうという方法もよく使っていた。

研修期間中に印象に残った体験や経験

ボツワナに着いたばかりの頃、私は近所のボツワナ大学で勉強している二人の女の子とよく一緒に通学した。その二人は私にバスのルートから買い物の場所まで丁寧に教えてくれた。そして、ある大雨の日に、その二人が私のことを心配して、家の車を出してバス停まで迎えにきた。このようなすばらしい友達ができたおかげで、私は安全で楽しく言語研修の期間を過ごすことができた。

また、私がフィールド調査をするときにバスで多くのツワナ人と接触し、彼らの情熱に感動した。何人かのバス運転手が私のことを覚えていて、道で会うたびに挨拶してくれた。私はよくバスに乗りながらツワナ語の単語を暗唱していたが、隣に座る人がよく私の間違った発音を直したり、勉強を励ましたりしてくれた。ツワナ語は私にとってとても難しいが、ツワナ人の情熱と励ましがあったからこそ、基本的な調査ができるほどのツワナ語力になった。

目標の達成度と反省点

ツワナ語は私が今まで習った言語と全然違う語系に属しているので、単語も文法も覚えにくかった。

ツワナ語の先生がとても丁寧に教えてくれたおかげで、たった2ヵ月半でゼロから日常会話レベルの語学力になって、小学低学年レベルの絵本も読めるようになった。

ただし、反省しなければならないのは言語研修期間が終わった後に心を緩めたことである。首都ハボロネでは若者がよく英語を使っており、たとえ私がツワナ語で話をかけても英語で答えてくれることが多い。そのため、私がフィールド調査をするときにはチャイナショップで働く若者と完全に英語で交流してしまうケースが多かった。もし私が続けてツワナ語を練習すれば、今のツワナ語がもっと上達できるはずである。そして、調査するときにも都市で働く若者にかぎらず英語がうまくしゃべれない村の人々やお年寄りとともに交流できるはずである。この点に留意しながら次回渡航の準備を行いたい。